

ARIBからのお知らせ

標準規格及び技術資料並びに情報提供業務のホームページでの提供について

ARIBが公表している標準規格及び技術資料並びに情報提供業務の情報については、当会のホームページにより平成20年4月21日午前9時から無料で利用することができることとしましたのでお知らせいたします。

ご利用にあたっては、各ページに記載された注意事項を必ずご一読ください。

なお、標準規格及び技術資料の製本版及びCD版の有料による頒布は、これまでどおり継続します。

本件に関する問合せ先： 社団法人電波産業会 info@arib.or.jp

ARIBの動き

第8回中日韓情報通信標準化会議が開催される

「中日韓情報通信標準化会議」の第8回会合が、3月31日から4月2日までの三日間、ARIBとTTCの主催により、沖縄コンベンションセンターで開催されました。

本会合は、情報通信分野の一層の発展に向けて、中日韓三カ国の民間電気通信標準化機関の相互協力をより積極的に推進することを目的とし、2002年に発足以来ほぼ毎年一回開催されており、今年で第8回を数えます。

今回は、表題の全体会合のほか、第16回B3G(Beyond 3G) WG、第12回NGN(Next Generation Network) WG、および第6回N-ID(Networked (RF)ID) WGの三つの作業部会 (Working Group) も開催され、参加者は前回第7回会合 (韓国・濟州島) を上回り、総勢90名を超える盛況でした。

全体会合はTTC藤井伸朗氏 (NTT-AT) を議長として、各標準化機関の活動状況、各作業部会の報告、今後の会合の運営について議論しました。B3G関係ではWRC-07, RA-07の後を受けてIMT-Advancedの新たな動きが期待されているためか、各国の団体メンバーには新しい顔ぶれも見られ、議論も活発に行われました。NGNについても日本での商用サービス開始等に刺激されたためか新しいメンバーも加わり非常に活発でした。



第8回中日韓情報通信標準化会議の様子

第139回業務委員会が開催される

第139回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成20年4月9日(水) 午後2時から3時15分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要

次の事項について事務局から報告及び説明がありました。

- (1) 第8回中日韓情報通信標準化会議の報告
- (2) デジタル放送の国際普及活動について
- (3) ワイヤレス国際普及活動について (ベトナムセミナー)
- (4) 周波数変更対策本部の組織改正について
- (5) 当会の活動状況について

電気通信・放送行政
およびARIBの動き

APEC第37回電気通信・情報作業部会(TEL37)の結果および 併設展示会の出展 (平成20年4月4日総務省報道発表に併設展示会を加筆)

平成20年3月23日から28日まで、東京（新宿京王プラザホテル）において、「APEC第37回電気通信・情報作業部会（TEL37）」が開催され、アジア太平洋情報通信社会（APIS）実現に向けた将来ビジョンについて、本年4月に開催が予定されているAPEC第7回電気通信・情報産業担当大臣会合（TELMIN7）

へ向けた議論が行われたほか、ユニバーサルサービス及び競争政策、ボットネット対策、ICT製品のセキュリティの確保、ICT人材開発等について議論が行われました。

また、各国・地域の高級実務者が集まり、TELMIN7における閣僚宣言案等について議論が行われました。

次回APEC第38回電気通信・情報作業部会（TEL38）は、平成20年10月12日（日）から17日（金）まで、ペルー（リマ）で開催される予定です。

1 会合日程等

平成20年3月23日から28日まで、東京（新宿京王プラザホテル）で開催されました。

2 出席者

APEC域内の政府及び民間企業等から、約300名が参加しました。我が国からは、政府関係者及び民間企業等関係者合わせて約80名が参加しました。

3 主要な議論

(1) APEC第7回電気通信・情報産業担当大臣会合（TELMIN7）に向けた対応
各国・地域の高級実務者が集まり、本年4月に開催が予定されているTELMIN7における閣僚宣言案等について議論が行われ、アジア太平洋情報社会（APIS）ビジョンが閣僚宣言案に盛り込まれる予定です。APISビジョンは、APEC域内の国と地域間で共有すべき将来の情報通信社会を示すものであり、APEC閣僚等からの指示に基づき我が国の主導で議論を行ってきたものです。

今後、TELMIN7閣僚宣言等については、TELMIN7の直前である4月20日（日）から22日（火）までタイ（バンコク）で開催が予定されている高級実務者会合において議論され、TELMIN7本会合で採択される予定です。

(2) 電気通信技術の急速な変化に対応した競争政策の模索

我が国におけるIP化の進展による規制政策の見直し等について総務省から、u-Japan政策を踏まえた移動体通信の役割等について株式会社NTTドコモから紹介を行いました。

今後、自由化分科会（副議長：中野総務省多国間経済室長）において、IP時代におけるユニバーサルサービス、投資インセンティブを維持する競争政策、固定通信と移動通信の融合であるFMC（Fixed Mobile Convergence）等、各国・地域の取組等を引き続き意見交換を行っていくこととなりました。

(3) 国境を越えた情報セキュリティに関する協力等に関する議論

我が国におけるセキュリティ政策について内閣官房情報セキュリティセンター、総務省及び経済産業省から、ICT製品に関するセキュリティ対策について独立行政法人情報処理推進機構、財団法人Telecom-ISAC Japan等から紹介を行いました。

今後、セキュリティ・繁栄分科会において、サイバー攻撃への対応のための国際的な協力等、各国・地域の取組等を引き続き意見交換を行っていくこととなりました。

(4) 技術開発協力に関する議論

アジア・太平洋電気通信共同体（APT）における我が国の人材育成プログラムへの貢献について早稲田大学から紹介を行いました。

今後、ICT開発分科会において、デジタルディバイドの解消に向けた政府のリーダーシップ・官民協力等について、各国・地域の取組等、引き続き意見交換を行っていくこととなりました。

4 併設展示会

「APEC第37回電気通信・情報作業部会（TEL37）」の開催に合わせ、会合の参加者に対し、我が国が強みを有する分野につき最新技術のPRを行うために、25日から27日までの3日間にわたり併設展示会が設置されました。

ARIBではデジタル放送普及活動作業班（DiBEG）が同展示会に出展を行い、ISDB-T地上デジタル放送方式のPRとしてその特徴である、HDTV、SDTV多チャンネル、データ放送および各種携帯受信端末によるワンセグの展示を行いました。

DiBEG展示ブースとHDTVおよび各種ワンセグ端末の展示の様子を次ページに掲載致します。



DiBEG展示ブース



HDTVおよび各種ワンセグ端末

編集後記

第8回中日韓情報通信標準化会議の一環で、会議参加者の中から希望者を募り、会議終了後に首里城公園ツアーを企画しました。半数近くの方々に参加して頂き、大変盛況でした。

約500年にわたり琉球王国の居城として政治・経済・文化の中心だった首里城正殿をバックに、日中韓三カ国の民間電気通信標準化

機関の相互協力をより積極的に推進することを祈念し、記念写真を撮りました。カラーでないので、鮮やかな朱色の正殿をお伝えできないのが残念です。もう1つ残念なことは、現在の建物は、1945年の沖縄戦による灰燼後に復元されたものであることです。



(敬天愛人)

[ページの先頭に戻る](#) ▲